

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2015年8月号(第8号)



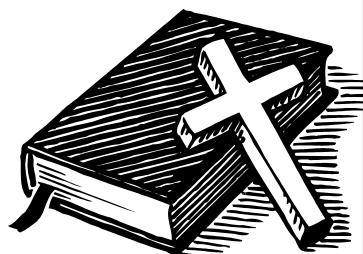
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。【第二テモテ 3章 16 ~17 節】

お陰様で『サクサク通信』も第8号を迎えました。読んで下さっている方から感想を頂くことがあるのですが、それが励みになっています。1月から7月までは、一貫して創造について、この世の始まりについて書いてきました。そして、前回は、この世に罪が入ってきたこと、その解決のために神が救い主を送ってくださる約束をして下さったことについて触れました。前回で創造に関する話がひと段落つきましたので、今号からは、簡単にはありませんが、キリスト教の教理について取り上げていこうと考えています。その最初のテーマは「聖書」です。聖書は本当に不思議な書物です。何が不思議か?!それを簡単に説明していきますと、聖書は、旧約聖書39巻、新約聖書27巻、計66巻から成り立っています。旧約聖書の古いものは、今から約3300年前(3500年という説もあります)に書かれ、新約聖書で最後に書かれたものは、1世紀の終わり頃に書かれました。すると、聖書の中でも約1400年の隔たりがあること

が分かります。また、聖書が書かれた地域もバラバラです。ある地域にまとまって「いつせいのせ」で書き始めたものではありません。パレスチナで誕生した書物が多いですが、他には今のイランで誕生したり、新約聖書の中にはローマで書かれた書物もあります。更に、聖書を書いた人々の背景もまちまちです。神によって立てられた指導者もいますが、王や預言者、羊飼、学者、献酌官、祭司、高級官僚、取税人、医者、漁師など約40人の人々によって書かれました。これを簡単にまとめてみますと、時代、場所、人などが非常に多様性に富んでいるのです。それにも関わらず、聖書には一貫したテーマがあります。それは、天地万物を創造した神を信じて生きるということ。また、その神が遣わしたイエス・キリストによる救いです。もちろん、この二つ以外にも非常に多くのことが書かれていますし、それぞれの書物に特徴があり、強調点の違いがあります。しかし、聖書の大きな主題は、「神」と「イエス・キリスト」です。こ

れだけの多様性に富んでいるにも関わらず、聖書はバラバラな書物ではなく、統一がとれています。これは、本当に不思議です。

では、なぜ、これほどまでに多様性に富んでいるにも関わらず、驚くべき統一性があるのでしょうか？それは、今月の聖書のことばにあるように、「聖書はすべて、神の靈感による」からです。これは、神の霊が生み出したもの、神が人間に働いて書かせた書物だということです。「靈感」と言いますと、少し誤解を受けやすい訳ですが、直訳は「神の息吹き」です。これは、アダムが神によって創造され、造られたように、聖書も、神の霊、または息によって、直接創造されたということです。ただ、勘違いして頂きたいことは、人間が恍惚状態になって、書いたのではない、ということです。聖書は、読んで頂ければ分かることですが、書いた人の個性が反映されています。神が書かしめたわけですが、誰かが、ある時、ある場所で書いたのです。状況や事情がある程度分かっている書物もあります。それぞれの書物に、それを書いた人の個性や人格が投影されているのです。そういう点で、聖書は、神が人間を用いて書かしめたものなのです。先ほど記したような聖書の統一性を見るにつけ、そのようにしか説明の仕様がなとも言えます。聖書には、このような記述があります。「なぜなら、預言（旧約聖書のこと）は決して人間の意志によってもたらされ

たのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。」（Ⅱペテロ 1章 21節）「聖霊」というのは、神の霊です。神の霊に動かされて書いた書物、あるいは神の息吹き、神の霊によって生み出された書物が聖書だと、聖書自身が語っています。こんな非科学的なことを本気で信じているのか、と驚かれたでしょうか。クリスチャンは、本気で信じています。聖書は「神のことば」だと信じています。そして、聖書が神のことばだからこそ、何千年経った今でも、私たちの人生を導く指針になっているのです。どうか、この聖書を手にとって一度読んでみてください。そして、聖書の話聞きに、是非キリスト教会に足をお運びください。

◆コラム

聖書は、世界のベストセラーと呼ばれています。その理由は、旧新約聖書合わせた聖書の頒布数が、2012年の統計で、全世界で3300万冊、新約聖書だけの版、分冊、選集を含めると、4億3千冊にも及ぶからです。そして、今なお、聖書の翻訳はされ続けています。聖書を翻訳するため、辞書も文法書もない言語を習得、聖書を翻訳すると共に、辞書や文法書を作る働きをしている宣教師たちがいます。これ程のことをするのは、聖書が神のことばであり、人に「永遠のいのち」を与える書物だと信じているからです。ぜひ、人にいのちをもたらす聖書に触れてください。

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～11:45
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈禱会 10:30～12:00
19:30～21:00

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。